

## 平成31年度からの「教育目標」の改定について

いわき市立勿来第二小学校

### <現 行>

#### ○ 学校の教育目標

『自ら学び、人間性豊かな「かしこく、強く、明るい子」の育成』

- ・ 進んで学習する子ども（知）
- ・ 健康でねばり強い子ども（体）
- ・ 仲良く助け合う子ども（徳）

#### ○ 重点目標または努力目標

- ① 自分の考えを分かりやすい表現でしっかりと述べるができる児童の育成を図る。
- ② めあてをもち、最後まで粘り強く頑張ることができる児童の育成を図る。
- ③ 心のこもったあいさつ、返事、言葉遣い及び基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成を図る。



### <改 定>

#### ○ 学校の教育目標

『主体的・協働的に学び、心豊かな「かしこく、強く、明るい子」の育成』

- ・ 自ら学び、考え、行動する子ども（知）
- ・ 健康でねばり強い子ども（体）
- ・ 明るく、思いやりのある子ども（徳）

#### ○ 重点目標または努力目標

- ① 自ら課題を持ち、友達や地域の人達とともに主体的に学ぶことができる児童の育成を図る。
- ② めあてをもち、最後まで粘り強くがんばることができる児童の育成を図る。
- ③ 社会には多様な考えや価値観があることを知り、それを互いに尊重しようとする児童の育成を図る。

#### (1) 改定の理由

- ① 子ども達がこれから生きていく時代は、A Iとの共存、新しい職業の創生と求められる力の変容、グローバルな労働市場、多文化共生、地球規模での気候変動や格差の拡大など、「変動性・不確実性・複雑性・曖昧性」の時代となることが予測されている。
- ② 学習指導要領「前文」にも、そのような時代の到来を見据えて、「一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」と示されている。
- ③ これらは、グランドデザインの策定や個々の教育活動を検討・実施する上で、学校の教育活動全体に通底するものとして重視すべきである。
- ④ そのためには、これらを「教育目標」に反映させ、本校教育のめざす方向として、より明確に示したいと考えた。

## (2) 教育目標（改定版）のとらえ方

### ①「主体的」

- ・ 知的好奇心を持つ（おもしろいな、やってみたいな、ふしぎだな、知りたいな…）
- ・ 自分から課題を持つ
- ・ 目標を持つ
- ・ 行動の変容まで想定した学び

### ②「協働的」

- ・ 友達や他学年、他校の児童と力を合わせる
- ・ 保護者や地域の方など外部の力を借りる（キャリア教育）、地域に根差した学び
- ・ 相手意識や相手を大切にす気持ち、友達や自分の「よさ」に気づく、「ちがい」を大切にす、コミュニケーション能力の向上
- ・ 特別な支援が必要な児童（友達）とその合理的配慮への理解

### ③「学び」

- ・ 機械的に知識・技能を身に付けさせるだけではない学び（しかし、そういう学びも必要であることは間違いない）
- ・ 体験、話し合い、学び合い、先生と児童1対1ではないコミュニケーション
- ・ 知的好奇心を伴う学び
- ・ 地域に根差した課題から出発する問題解決的な学び

### ④「心豊かな」

- ・ 他者に対する思いやりの心
- ・ 自分を見つめる心と自己肯定感
- ・ 地域を大切にしようとする心
- ・ 諸問題を自分のこととしてとらえる感性
- ・ あいさつや返事なども含めた基本的な生活習慣

### ⑤「かしこく、強く、明るい子」

- \* 児童にもわかるようにと短い言葉に集約したものであるため、このままの文言と順番にしたい。